

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

見てみよう！歴史地震記録と

旬のあいち < 1月 >

かたのはら ◆ 形原神社

所在地：蒲郡市形原

交通：名鉄蒲郡線「形原」駅北西約1km

昭和20(1945)年に三河地震が発生してちょうど70年になります。三河地震は、三河湾内の中央構造線付近から大きく曲線を描きながら西尾市にまで達する深溝断層において、西南西側の三ヶ根山地が隆起して東北東側へ突き上げた結果発生した地震で、断層が隆起して突き上げた地帯及び地盤の軟弱な平野部で比較的被害が大きく、蒲郡市西南部(旧形原町)でも全壊率が高くなっています。

昭和20年1月18日に警察に報告された「三河地震被害調査」(旧形原町役場「震災記録綴」)によれば、旧形原町内8町内会で、住家1931棟中、全壊368、半壊955、破損524とされ、ほとんどすべての住家がなんらかの被害に遭い、209名の方が亡くなったとされています。

昭和52年に蒲郡市が震災当時の状況を取りまとめた「わすれじの記」には、旧形原町前野地区の被害の記録があり、住居家屋の被害が大きかったこと、死者の大部分は、大激震で瞬時倒壊した家屋の鴨居や梁で頸骨や頭骨、胸骨などを押しつぶされて、一瞬にして圧死したものであること、などが記されています。また、2階部分がそのまま1階になってしまった屋敷の記録も残されています。

町長の慰霊の言葉(昭和20年1月)にも、当時の状況がよく示されています。

「昭和20年1月13日午前3時40分、地裂け天落つるかと思われる一瞬、消灯で暗黒、激震その程を知らず阿修羅場と化す。」「亡き骸にすがる肉親の泣声、痛みに堪ゆるうめき、悲壮愁絶、目も当てられず、唯私は御気の毒、御愁

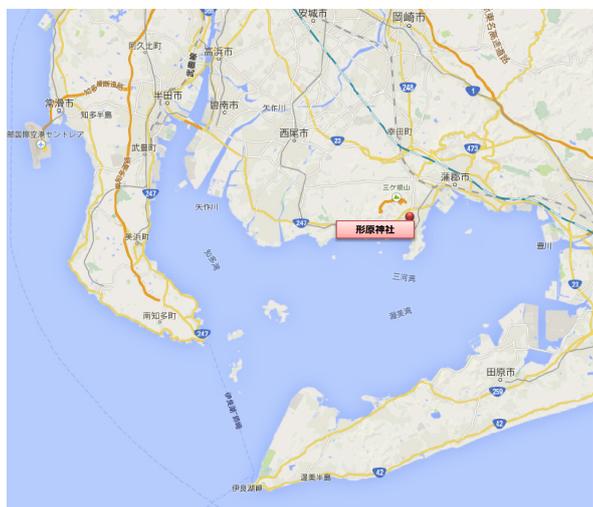
傷と合掌、泣くより外はなかったのであります。」「翌14日、二百有余霊に対する野辺の弔ひ、各所一斉に立上る白煙を拝す。何分、灯火管制下でありましたので、その御取扱も丁重を欠き痛嘆の極みでした。」「(旧形原町役場「震災記録綴」より)

被害の大きかったこの旧形原町の犠牲者の霊を慰め、且つまた後の世の戒めとするため、33回忌の昭和52年1月13日に、形原神社境内に「わすれじの碑」が建立されました。

碑文では、「今ここに33年を迎えるにあたり、当時の惨状に思いを新たに、非命にたおれた人人の霊を慰めるとともに、永く後世に伝えるべきしるしを残すということは、まさに生き長らえることを得た者の果すべき重要な課題であると考え、(後略)」とし、亡くなられた方の霊を慰めるとともに、教訓を後世へ伝えることを強く意識した内容になっています。

「わすれじの記」の前書きにも「発刊にあたり、8万6千市民たがいにいましめあい、市の災害対策に万全を期する」決意がなされており、三河地震の教訓を後世に残そうという強い思いが感じられます。

この「わすれじの記」は、蒲郡市ホームページ内の蒲郡市視聴覚ライブラリー (<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/gavl/gavl-web.html>) から閲覧することができます。興味深い写真や記述がたくさん掲載されていますので、ぜひ一度ご覧ください。



◆ 地震にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い(二度と被害を繰り返さないように、など)が込められています。碑や史跡の前では、地震が実際にこの地域で起こること実感していただくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。



◆ 形原神社の周辺には…

● ^{そうとくじ}宗徳寺（三河地震による地割れ）

所在地：蒲郡市一色町

交通：JR 東海道本線「三ヶ根」駅南約 2km

三河地震の際に、深溝断層に沿ってできた地割れです。蒲郡市の天然記念物に指定されています。天然記念物指定時には延長 41m でした。隆起のため 1.5m 持ちあがっ



てしまった番神堂は改修の上、現存しています。



● ^{みたけ}御嶽神社

所在地：蒲郡市形原町御嶽

交通：名鉄蒲郡線「形原」駅すぐ

「御嶽神社日誌」には、嘉永 7（1854）年の安政東海地震では、神社の塀、石燈籠、周辺の家が崩れたこと、津波で家が流失したことが記されています。また、32 時間後に起きた安政南海地震では、西南の方向から大きく響いてきた雷のような音への恐怖から西浦町の住民が小高く安全な場所に避難したことが記されています。



◆ 詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

★ 「忘れじの碑」慰霊祭

形原神社では「わすれじの碑」にちなんで、毎年の成人の日に、三河地震の犠牲者の霊を慰めるための慰霊祭を開催しています。神社の慰霊祭の案内には、「先人の願いを後世に伝えるため」と記されており、三河地震による被害を後の世の戒めとするため、という意味合いが込められています。



平成 27 年は 1 月 12 日です。ぜひご参列ください。

1 月のあいちの花

平成 27 年 1 月のあいちの花はアルストロメリアです。アルストロメリアは南アメリカ地方が原産で、その花姿から「インカ帝国のユリ」などの異名があります。100 種近くの野生種が分布し、砂漠や砂丘に自生するものもあります。5～7 月頃に豊富な色合いの花を咲かせ、花びらにある斑点が特徴となっています。



アルストロメリアの名前はスウェーデン人の植物学者アルストロメルに由来しています。

● ブレイクタイム ●

♪ 蒲郡みかん

海と山に囲まれ、温暖な気候の蒲郡市では、みかんの栽培が盛んであり、市の代表的な産業のひとつになっています。

露地栽培の蒲郡みかんでは、高級露地みかん『箱入り娘』や『はるみ』が有名です。また、蒲郡温室みかんは全国 2 位の出荷量を誇っています。「蒲郡みかん」は愛知県内で初めて地域団体商標（地域ブランド）に認定された農産物で、みかんでは「三ヶ日みかん」などに次いで全国で 8 番目の登録となっています。

蒲郡オレンジパークでは、蒲郡みかんを中心に、みかんジュースやみかんソフトなども販売しており、季節の果物の果物狩りも楽しめます。（みかん狩りは 10～12 月、1～5 月はいちご狩り）



『蒲郡オレンジパーク』

所在地：愛知県蒲郡市清田町小栗見 1-93

交通：東名高速道路「音羽蒲郡」IC 南西約 5km

◆ この地域の地震・津波に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆ 県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減齋の会（仮称）・名古屋大学減災連携研究センター 平成 27 年 1 月）

